

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

海南市教育委員会

1 調査結果の公表にあたって

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に実施しています。しかし、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の成果の一側面にすぎません。本市としましては、本調査の結果から得られた全国の状況等を参考にしながら、今後の教育施策を講じるための一つの指標と捉えるとともに、各学校における学習指導の充実・改善、児童生徒一人一人の学習状況の改善等につなげてまいります。

2 調査の実施状況

(1) 調査実施日 令和3年5月27日（木）

(2) 調査の対象学年（本市での実施学校・児童生徒数）

- ・小学校第6学年（12校・315人）
- ・中学校第3学年（7校・298人）

(3) 調査の内容

① 教科に関する調査

- 小学校調査 ・ ・ ・ 国語、算数
- 中学校調査 ・ ・ ・ 国語、数学

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・ 学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する内容

(4) その他

- ① 本調査は、対象となる学年が限られており、本年度は、実施教科が国語、算数・数学、の2教科であること、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要です。また、今回示した数値は調査結果のすべてを表すものではありません。
- ② 今後の指導に生かすため、市全体の結果から見たそれぞれの教科や質問紙の概要、今後の取組についてなどを併せて記載しています。

3 教科に関する調査の結果

【小学校】

(1) 平均正答率 () 内は全国比

	国語	算数
海南省	68.1 (+3.4)	72.2 (+2.0)
和歌山県 (公立)	65	70
全国 (公立)	64.7	70.2

※ 自治体別の平均正答率は小数点以下を四捨五入し、整数値で示されていますが、海南省の結果は各設問の平均正答率をもとに計算し、独自に小数点まで算出しています。

(2) 各教科の概要

① 国語

i) 学習指導要領の領域別正答率

	国語		
	海南省	和歌山県	全国
話すこと・聞くこと	78.1	76.4	77.8
書くこと	66.7	61.5	60.7
読むこと	48.5	44.6	47.2
言葉の特徴や使い方に関する事項	73.4	71.0	68.3

ii) 全国の前答率と比較した特徴

話すこと・聞くこと (全3問)

- ・平均前答率 78.1% (全国との差 +0.3%)、3問中2問で全国を上回っている。
- ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることが概ねできている。

書くこと (全2問)

- ・平均前答率 66.7% (全国との差 +6.0%)、すべての問題で全国を上回っている。

読むこと (全3問)

- ・平均前答率 48.5% (全国との差 +1.3%)、3問中2問が全国を上回っている。
- ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することが概ねできている。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。

言葉の特徴や使い方に関する事項 (6問)

- ・平均前答率 73.4% (全国との差 +5.1%)、6問中5問が全国を上回っている。
- ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができている。
- ・文の中における修飾と被修飾との関係を捉えることに課題がある。

② 算数

i) 学習指導要領の領域別前答率

	算数		
	海南省	和歌山県	全国
数と計算	67.9	63.6	63.1
図形	59.7	57.0	57.9
測定	76.5	74.2	74.8
変化と関係	78.1	76.7	75.9
データの活用	75.8	73.8	76.0

ii) 全国の正答率と比較した特徴

数と計算（全4問）

- ・平均正答率 67.9%（全国との差+4.8%）、4問中3問が全国を上回っている。
- ・示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することが概ねできている。
- ・商が1より小さくなる等分除の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることに課題がある。

図形（全3問）

- ・平均正答率 59.7%（全国との差 +1.8%）3問中2問で全国を上回っている。
- ・複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述することに課題がある。

測定（全3問）

- ・平均正答率 76.5%（全国との差 +1.7%）3問中2問で全国を上回っている。
- ・条件に合う時刻を求めることができています。

変化と関係（全3問）

- ・平均正答率 78.1%（全国との差 +2.2%）、3問とも全国を上回っている。
- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することが概ねできている。
- ・速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことが概ねできている。
- ・速さを求める除法の式と小の意味の理解に課題がある。

データの活用（全5問）

- ・平均正答率 75.8%（全国との差 -0.2%）5問中4問で全国を上回っている。
- ・棒グラフから、数量や項目の関係を読み取ることができています。
- ・帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述することに課題がある。

【中学校】

(1) 平均正答率 （ ）内は全国比

	国語	数学
海南省	67.1 (+2.5)	59.6 (+2.4)
和歌山県（公立）	61	55
全国（公立）	64.6	57.2

※ 自治体別の平均正答率は小数点以下を四捨五入し、整数値で示されていますが、海南省の結果は各設問の平均正答率をもとに計算し、独自に小数点まで算出しています。

(2) 各教科の概要

① 国語

i) 学習指導要領の領域別正答率

	国語		
	海南省	和歌山県	全国
話すこと・聞くこと	79.0	75.6	79.8
書くこと	61.1	54.0	57.1
読むこと	50.4	44.0	48.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.5	73.4	75.1

ii) 全国の正答率と比較した特徴

話すこと・聞くこと（全3問）

- ・平均正答率 79.0%（全国との差 -0.8%）3問中2問で全国を下回っている。
- ・質問の意図を捉えることができています。
- ・話し合いの話題や方向を捉えることが概ねできているが、話す内容を考えることに課題がある。

書くこと（全3問）

- ・平均正答率 61.1%（全国との差 +4.0%）3問すべてで全国を上回っている。
- ・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えることが概ねできている。
- ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことに課題がある。

読むこと（全4問）

- ・平均正答率 50.4%（全国との差 +1.9%）4問中3問で全国を上回っている。
- ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つことに課題がある。
- ・文脈の中における語句の意味を理解することに課題がある。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（全4問）

- ・平均正答率 79.5%（全国との差 +4.4%）4問すべてで全国を上回っている。
- ・文脈に即して漢字を正しく読むことができています。
- ・相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題がある。

② 数学

i) 学習指導要領の領域別正答率

	数学		
	海南省	和歌山県	全国
数と式	67.7	62.7	64.9
図形	54.4	48.7	51.4
関数	56.9	53.9	56.4
資料の活用	56.5	53.0	53.8

ii) 全国の正答率と比較した特徴

数と式（全5問）

- ・平均正答率 67.7%（全国との差 +2.8%）5問中4問で全国を上回っている。
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることが概ねできている。
- ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することに課題がある。

図形（全4問）

- ・平均正答率 54.4%（全国との差 +3.0%）4問中3問で全国を上回っている。
- ・ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することに課題がある。
- ・平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することに課題がある。

関数（全3問）

- ・平均正答率 56.9%（全国との差 +0.5%）3問中2問で全国を上回っている。
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができています。
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。
- ・関数の意味の理解に課題がある。

資料の活用（全4問）

- ・平均正答率 56.5%（全国との差 +2.7%）4問中3問で全国を上回っている。

- ・与えられたデータから中央値を求めたり、ヒストグラムからある階級の度数を読み取ったりすることができている。
- ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
- ・相対度数の必要性と意味の理解に課題がある。

4 質問紙調査の結果

全国学力・学習状況調査では、教科の調査のほか、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査があります。この質問紙調査では、児童生徒の学校や家庭における学習状況や学校での学習の様子が分かります。

※ 表中の海南市の数字は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合

※ 比較は、海南市と全国との割合の差（海南市－全国）を表す

(1) 基本的な生活習慣

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
朝食を毎日食べていますか	95.3	+0.4	93.9	+1.1
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.5	+2.3	83.5	+3.7
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.8	+1.4	95.6	+2.9
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	65.7	-4.4	66.4	-1.5
普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム）をしますか（1時間以上）	79.9	+3.7	80.5	-0.5

(2) 規範意識、自己有用感等

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
自分には、よいところがあると思いますか	75.9	-1.0	79.9	+3.7
将来の夢や目標を持っていますか	81.2	+0.9	70.1	+1.5
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	87.9	+3.6	83.5	-0.7
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	74.9	+4.0	66.5	+0.6
人が困っているときは、進んで助けていますか	92.1	+3.4	90.6	+2.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.5	+0.7	97.6	+1.7
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	98.1	+2.6	96.9	+1.9
学校に行くのは楽しいと思いますか	89.5	+6.1	91.3	+10.2

自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか	69.8	-0.5	79.5	+4.3
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	71.4	+1.3	80.9	+6.2
友達と協力するのは楽しいと思いますか	96.2	+2.3	96.0	+2.7

(3) 学習習慣等

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	82.3	+8.3	65.8	+2.3
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む：1時間以上）	67.0	+4.5	74.2	-1.7
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む：1時間以上）	62.2	+1.2	72.2	-5.4
学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）	57.1	+9.7	76.1	+12.6
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く：30分以上）	40.3	+2.9	24.6	-4.3
あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く：10冊以下）	13.7	+2.6	19.5	+4.9
新聞を読んでいますか（週に1回以上）	15.5	+0.7	11.4	+1.0

(4) 地域や社会に関わる活動の状況

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
今住んでいる地域の行事に参加していますか	57.5	-0.6	54.0	+10.3
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	49.5	-2.9	53.7	+9.9

(4) ICTを活用した学習状況

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか（週1回以上）	66.0	+25.9	49.4	+16.0
あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか（週1回以上）	49.9	+10.9	48.0	+13.2
学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	96.5	+2.0	92.7	-0.5
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（全く使っていない・持っていない以外）	77.4	+6.5	73.8	-2.9

5 今後の取組について

令和3年度全国学力・学習状況調査における本市の各教科の状況については、小学校、中学校ともに各教科の平均正答率が全国及び県を上回っており、概ね良好な結果であるとともに、学習の成果が現れていると捉えています。

令和2年度より小学校において、令和3年度からは中学校において新しい学習指導要領が全面実施となり、今後は、子供たち一人一人に対し、基礎的・基本的な知識・技能の習得はもちろん、それらを活用して課題を見だし、解決するための思考力・判断力・表現力などや、学びに向かう力・人間性等幅広い学力を確かに身につけさせることが必要です。また、国が推進するGIGAスクール構想の下、本市小中学校においても、昨年度中に配備した一人一台の学習端末を使った新しい学びがスタートしています。ICTも活用しながら、創意工夫ある、魅力ある授業を展開し、すべての子供が「できる・分かる」喜びを持てる学びを形成できるよう、授業改善に継続的に取り組むことが重要であると考えています。

そのため、全国学力・学習状況調査から得られる結果等をさらに分析し、子供たち一人一人の学習状況の把握はもとより、一層きめ細かい指導を進めていくことが大切であると捉えています。

なお、基本的な生活習慣の確立、規範意識・自己有用感の醸成、家庭学習のあり方、読書活動の推進、地域や社会参加への意識高揚などについては、家庭や地域の皆様方の御理解と御協力をいただきながら、より充実させていくことが求められます。

教育委員会としましては、今後とも、各学校の学力向上に向けた取組を支援するとともに、教育施策の充実を図り、子供たちの可能性を広げる教育の推進に努めてまいります。

また、各学校においても、自校の状況及びその分析結果、改善方策等を保護者等に説明することとしております。